

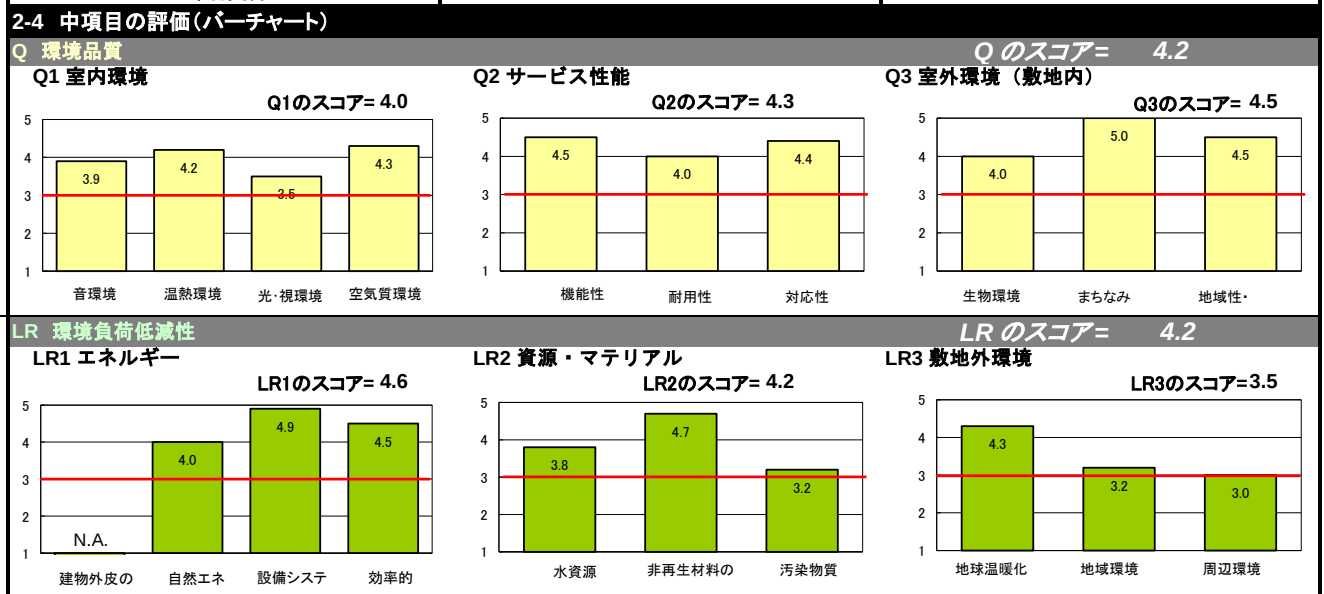
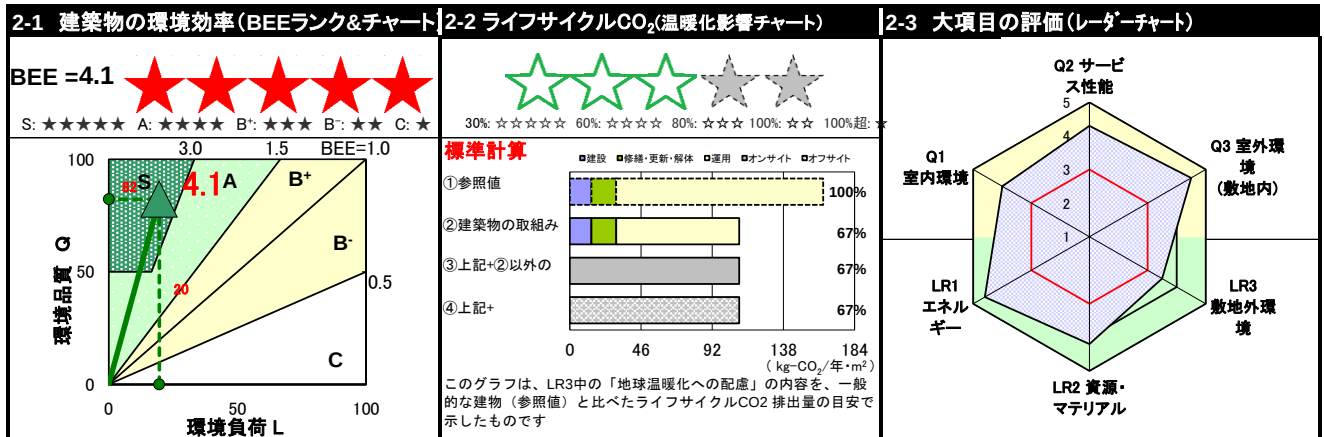
CASBEE®広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

(使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0))

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	明治安田生命広島ビル	階数	地上14F
建設地	広島県広島市中区袋町4-23,24,25,26	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	850 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2024年12月12日
敷地面積	1,862 m ²	作成者	株式会社日建設 似島俊平
建築面積	1,276 m ²	確認日	2024年12月13日
延床面積	16,550 m ²	確認者	株式会社日建設 久保田敬亮



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 4.4		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 4.6	スコア= 3.8	スコア= 3.9
設計の計画上位段に配慮した事項 底と複層ガラスを使用することによって高い外皮性能とした / 自然換気の有効時を知らせるランプによる、手動の自然換気が行える計画とした / 高効率PACの採用を行った / 中央監視設備に主要な設備のエネルギー使用量を取り込み、効率的に運用改善ができるような計画とした / 雨水利用システムの採用やリサイクル材の採用を行った / 高効率機器、自然エネルギー利用等により、ライフサイクルCO₂を削減する計画とした	設計の計画上位段に配慮した事項 ビロティ空間や底の計画、外構の緑化等を行った / 適切な量の駐車・駐輪台数の確保をした	設計の計画上位段に配慮した事項 内外装、設備ダクト・配管等に耐久性の高い仕上げを使用した / 更新のための適切なスペース計画や搬出入計画により、設備の更新性を確保した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される